

応用生物特別講義

海藻の進化・生態・生産利用

講師：平岡 雅規（高知大学准教授）



概要：別々の生物が合体(細胞内共生進化)して生まれた海藻。陸上植物より多様な海の植物を紹介したい。また、海に囲まれた日本で海藻バイオマスの利用はこれからますます重要になるはず。過疎化が進む漁村で始まっている地道な海藻利用の地域活動も紹介する。



講師紹介：平岡雅規(ひらおか まさのり)
1967年大阪生まれ。神戸大学理学部生物学科卒業。修士取得後、大学を追い出されぶらぶらしているところを大野正夫高知大学名誉教授に拾われ博士号を取得。NEDOフェロー(高知県海洋深層水研究所駐在)を経て高知大学教育研究部総合科学系黒潮圏科学部門准教授(現職)。

海藻の生殖生理、生態に興味があり基礎研究を進めていたが、生活の糧を得るため応用研究に着手。効率のよい海藻陸上栽培方法を発明し特許取得、株式会社「海の研究舎」を設立。この特許をもとに海洋深層水を使った「多段タンク式の海藻栽培システム」を設計。高知県漁協がシステムを採用して2004年に「深層水アオノリ陸上栽培事業」を開始。高知大学で教えた卒業生が、アオノリ栽培施設で働くようになった2009年に黒字化。



日時：9月24日(火)、25日(水) 場所：10番講義室
共に10時～12時、13時～15時

どなたでも聴講できます

受講に関する質問は、森山（BE課程）へ（toru@shinshu-u.ac.jp）